

FMU 男女共同参画通信

第7号 December 2015

福島県立医科大学男女共同参画支援室

年内も残り少なくなっていて参りました。この一年はどんな年だったのでしょうか。本支援室では、毎月開催のFMUカフェや10月の男女共同参画月間に伴い講演会を行い、11月には学生との交流会など様々なセミナーを開催しました。

来年も楽しいイベントを企画しておりますので、皆様是非ご参加下さい。来年も、変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



平成28年2月 ニーズ調査のご案内

ライフイベント（出産・育児・介護・看護等）を抱えた教員の研究支援を行っております。

つきましては、**平成28年2月**にニーズ調査（配置希望調査）を行います。

支援期間：

H28年4月1日～

H28年9月30日まで

1. 対象者：本学に所属する助手以上（大学院生も含む）の研究者（性別は問いません）のうち、①～④にあてはまる者。

①妊娠中

②家庭において、小学校6年生までの児童の主たる養育者である

③同居・別居に問わず市町村の要介護認定を受けている親族の主たる介護者である

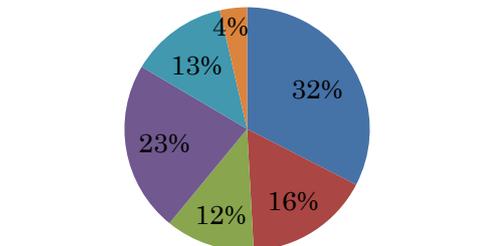
④その他、上記に準ずる（家族の看病をしている等）状況

2. 支援を希望される方は、2月に配布する調査票にて詳細をご確認ください。

平成27年度『男女共同参画に関するアンケート』集計結果について

8月上旬に実施しました「H27年度男女共同参画に関するアンケート調査」では、多くの教職員の方々にご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケート結果を抜粋して報告いたします。また、詳細は本支援室のHPに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

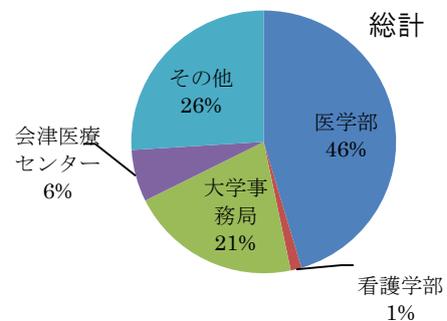
男女共同参画を推進をすることは、どのようなプラス効果になるか？



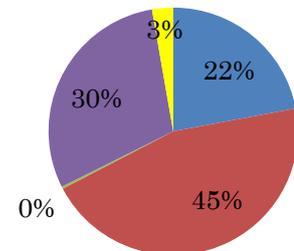
- 男女双方にとって働きやすい職場となる
- 女性の労働意欲が向上する
- 男女共同参画という社会ニーズに応えることによって大学のイメージが向上する
- 多様な人材が活躍できる組織となることで、大学が活性化する
- 若年層の職員・学生にとって、将来のモデルが提示できる
- 特にプラス効果はない

アンケート回答者

総計 1,066名



現在、あなたが理想と考えるバランスで仕事と生活の両立ができているか？



- 仕事が多く、私生活にとる時間が少ない
- 仕事と私生活のバランスがほぼ取れている
- 私生活にかかる時間が非常に多く、仕事に支障が出ている
- 仕事はやや多く、私生活にとる時間がやや少なくなっている
- 私生活にかかる時間が多く、仕事に十分できない

Information

FMU イングリッシュカフェ
日時●平成28年1月6日（水）
16:30～17:30
場所●8号館4階 S413
発表●Mayo Clinicに勤務されている先生方にご訪問いただきます。
※お菓子や飲み物を御準備しておりますので、お気軽にご参加下さい。

第4回 FMU スキルアップセミナー
日時●平成28年1月26日（火）
17:00～18:30
場所●第2カンファランス室
講師●メンタルトレーナー
中本 雅子氏
(ワンセルフ・インター
ナショナル株式会社)

平成27年度 FMU 成果報告会
H27年度に、研究支援を受けてられた先生方に研究の概要等について発表していただきます。
日時●平成28年2月19日（金）
16:00～17:30
場所●4号館4階 第1ゼミナール室

平成27年度福島県立医科大学男女共同参画講演会を開催しました

10月9日(金) 本学の第2臨床講義室において、『平成27年度福島県立医科大学男女共同参画講演会』を開催致しました。講師に、長崎大学ダイバシティ推進センター長・教授 伊東昌子氏と公益社団法人日本看護協会 労働政策部長 橋本美穂氏を招聘し、ご講演をいただきました。

伊東先生には「幸せを感じる働き方を目指して～長崎大学の取組～」と題して、長崎大学での取組をお話いただき、橋本先生には「少子高齢化を支える男女共同参画～看護職のワーク・ライフ・バランス推進の取り組みを通して考える～」と題して、看護職の他病院での取組などをお話いただきました。今後の活動の参考となる、大変有意義な講演会となりました。参加者からは「ワークライフバランスについて考える良い機会になりました」「働き方の多様性の取組をしている職場(事例)は、すごくいい方法だと思った」「出産・育児だけでなく、介護も含めた広い視点でサポートの充実が必要であると思いました」等の感想が寄せられました。



FMU キャリアサポート交流会～未来の“私”を考えよう～を開催しました

11月2日(月)に、学生を交えての交流会「FMU キャリアサポート交流会～未来の“私”を考えよう～」を開催致しました。講師に、本学医学部薬理学講座教授 木村純子先生と本学看護学部家族看護学部門准教授 大川貴子先生をお招きし、ご講演をいただきました。

先生方には、ご自身の体験談などキャリアを通じたお話をいただき、これから医師として、看護師として、又は研究者として未来像を考えるのにとっても参考になるお話を聞くことができました。参加者からは「先生方のキャリアだけでなく、どのように考えて決断されてきたのかを聞くことができ、大変為になりました」「看護師と患者の“かわり”についてもっと考えていかなければいけないと感じました。講演を聞いて看護とは何かを改めて考えることができました」等の声が寄せられました。講演会終了後は、交流会も開催され、木村先生と大川先生との親睦を深めました。



第4回 FMU キャリア・アップセミナーを開催しました



11月30日(月)にキャリア形成に関するセミナーとして『FMU キャリア・アップセミナー』を開催しました。第4回目の今回は「腫瘍外科から放射線災害医療へ～よくばり救急医の幸運と苦悩～」をテーマに、本学放射線災害医療学講座教授 長谷川有史先生に御講演をいただきました。

長谷川先生は、現在もドクターヘリに搭乗され、日々救命救急のために御尽力されております。これまでの御自身の経験談などを踏まえつつ、仕事と生活を両立させるため、どのように考え、様々な選択をされてこられたのか、これまで先生が歩んできた道についてお話いただきました。

セミナー終了後のアンケートでは「よく感じ、よく考え、よく活動できる素晴らしい能力。本当にこれからの自分の人生の指針にしたいと思います。ありがとうございます」「なかなかキャリアアップの話が聞けないので、私自身の人生のfeedbackにもなりました」等の声が寄せられ、とても有意義なセミナーになりました。

9月、11月イングリッシュカフェと10月、12月キャリアカフェを開催しました

毎月、交流の場として「FMUカフェ」を開催しております。9月と11月には、情報交換をしつつ英語力を身に付ける『イングリッシュカフェ』を開催しました。

9月は、医学部4年生の学生に「日米学生会議」についてご発表いただきました。

11月にはJICA 研究員の方々にベトナム人医師のワークライフバランスについてご発表いただきました。常連の参加者や新しい参加者も増え留学生の方々も参加いただき、学ぶ楽しさ、違う国の人々と交流ができとても有意義なイングリッシュカフェとなりました。



10月と12月には、「男女参画現状と今後を語ろう」と題して、各講座の先生方にご参加いただき『キャリアカフェ』を開催しました。

参加者の方々は、ご所属の現状について話し合うなど、とても充実したカフェになりました。

福島県立医科大学では、個人として尊重され、性別に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、仕事と生活の調和を実現することを目指しています。

福島県立医科大学 男女共同参画支援室

【連絡先】E-mail : gendeqsp@fmu.ac.jp / Tel : 024-547-1657 / 内線 : 2807

HP : <http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/>

男女共同参画支援室長 小宮 ひろみ
コーディネーター 氏家 智亜紀